

●各部の名称

この度は、TIERRA AIR IC シリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。このリールを正しくご使用いただくために、使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。またリール同様の取扱説明書も大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

- ※操作方法については、本取扱説明書の裏面をご覧ください。
- ※リール各部の名称やメンテナンス方法については「取扱説明書」をご覧ください。

- 注意**
- ①電源はOFFにしてから電池交換してください。
 - ②電池交換は屋内の湿度の低いところで、バッテリーケース内に水滴等が入らないように注意してください。
 - ③バッテリーケースを開けたまま、長時間放置しないでください。(電池交換作業は5分以内に終了してください)
 - ④電池を取り外した時に現れる金属部分は手や金属で触らないでください。
 - ⑤長時間ご使用にならないときは本体から電池を抜いてください。
 - ⑥使用済の電池は、各自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。
 - ⑦電池交換時、バッテリーキャップやパッキン等の部品に傷がついたり、異物が入り込むと防水性能や機能に不具合が生じる可能性がありますのでご注意ください。
 - ⑧電池が漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがありますので、下記のことを行わないでください。
 - ・電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。
 - ・電池は長時間直射日光や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
 - ・電池を水で濡らさないでください。
 - ・電池は直射日光、高温、高湿の場所を避けて使用、保管してください。電池の寿命を下げることもあります。
 - ・電池の使用、保管時に発熱、変形など今までと異なることに気づいたときは、使用しないでください。

●ICカウンターご使用上の注意

- ①水中に浸すなど無理なご使用はおやめください。
- ②防水性を考え、バッテリーキャップは出荷時にしっかりと閉めてあります。電池交換以外でのバッテリーキャップ開閉はおやめください。
- ※カウンター電源のON・OFFはリセットスイッチの操作で行ってください。
- ③性能上、真冬(カウンター表面温度-10℃以下)および真夏(カウンター表面温度60℃以上)の際には液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- ④偏光グラス使用時、性能上、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- ⑤電源ONの時、静電気などの影響により、一瞬液晶表示の一部が点灯することがありますが、故障ではありません。安心してお使いください。

注意 ICカウンターが正常な場合でも、使い込んでいくうちにカウンター誤差が生じてきたときには、道糸が伸びていることが考えられます。その際にはお手数ですが再び道糸入力を行いなおしてください。

●アフターサービスについて

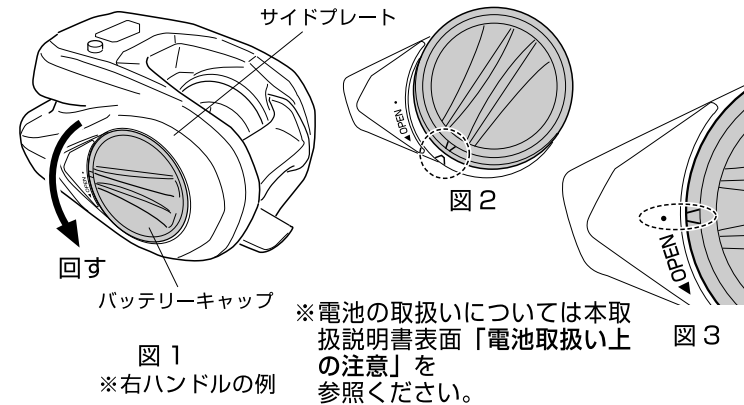
本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万が一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際は買い求めの販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター(無料) 携帯電話からもご利用できます
 TEL 0120-506-204 【受付時間】9:00~17:00
 (土・日・祝祭日は除く)
 ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます
 www.daiwa.com/jp/
グローブライド株式会社
 〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16

Printed in THAILAND

●電池交換方法

- ①コインなどを使ってサイドプレートのバッテリーキャップを[OPEN]の方向に回し外します。(図1)
(電池が落下しないようご注意ください。)
- ②古い電池を取り外します。
- ③新しい電池を入れます。(手前が+になるようにしてください。)
- ④バッテリーキャップを付けて、閉めてください。
※バッテリーキャップを取り付ける際は図2のように目印をケース側の目印の位置とあわせてください。
※バッテリーキャップの目印がLOCKの位置(図3の状態)になるまでしっかり閉めてください。
- ⑤電池交換後、カウントダウン表示の後、[O.O]の表示になれば正常です。
※電池はCR2032です。
※電池交換後も各種設定データ(道糸データ、アラーム設定、LED設定)は消えません。



●故障かなと・・・考える前に

症状	処置	備考
カウンター表示がつかない。	①リセットスイッチ(電源ON・OFF)を押してください。 ②室温にしてみよう一度たしかめてください。	-10℃以下、60℃以上の場合、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
カウンター表示が消えない。	③電池切れ、+・-逆入れなどについて確かめてください。	電池については本マニュアル中の該当する欄をご覧ください。
カウンター表示が勝手に消えた。	リセットスイッチ(電源ON・OFF)を5秒以上表示が消えるまで押してください。	表示が消えたらスイッチから手を離してください。押し続けると変更モードになります。
カウンター表示がうすくなった。	電池寿命が近づいています。新しい電池と交換してください。	このリールには自動節電機能がついております。(約60分)
アラームが鳴らない。音が小さい。LEDが点灯しない、暗い。	電池寿命が近づいています。又は設定がOFFになっているので設定をONにしてください。	CR2032 コイン型リチウム電池を交換してください。
電源ON時英数字が数秒表示される	当社で使用する識別表示のため、故障ではありません。	設定方法については本マニュアル中の該当する欄をご覧ください。
各設定モードへの移行時[Err]が表示される	電池寿命が近づいています。設定を変更できません。	CR2032 コイン型リチウム電池を交換してください。
カウンターに[E]が点滅する。	電池寿命が近づいています。新しい電池と交換してください。	CR2032 コイン型リチウム電池を交換してください。
誤差が大きい。	お手数ですが再び入力をやり直してください。 糸の種類によって、糸ののび・ちぢみが多かったり、色分けにズレがある場合もあります。そのために、カウンター表示とのズレが出る場合があります。	下巻きをして道糸を入力する場合、下巻き入力を行ってください。

※上記の点検が行われても、正常にならなかつたり、おかしいと思われたときには、お買い求めの販売店、またはお客様センターにおたずねください。他の故障が生じた場合や部品ご注文の際にも同様をお願いいたします。

●カウンター電源ON・OFFのしかた

液晶表示が点灯しているときは、電源ONの状態です。
ONにする-----スイッチを押してください。
OFFにする-----スイッチを5秒以上、表示が消えるまで押してください。
自動節電機能について
電源ON時、約60分間以上無操作の状態がつづくと省エネのため、自動的に電源OFFとなる節電機能がついております。
※電源をOFFにしても道糸のデータはメモリーされていますので安心ください。

●カウンターのはたらき

- 10cm単位水深カウンター
水面からの水深を10cm単位で表示します。
- 水深カウンターリセット(電源ON・OFF)スイッチ
このスイッチを2秒押しと上のカウンター表示が[0.0]になります。
※表示10.0m以上で上記操作を行うと、糸切れ補正となりますのでご注意ください。(下記参照) 【糸切れ補正のしかた】
- 巻上げ速度/タイマー表示
※初期設定は巻上げ速度表示になっています。
- 巻上げ速度表示
ハンドル回転時、巻上げ速度を0~H表示にて目安として把握することができます。
- タイマー表示
水深7mにて自動スタート。仕掛け投入時間(分)を表示します。

『パーツ情報 確認方法』

パーツ情報については【ダイワパーツ検索システム】よりご確認ください



QRコードまたは検索

ダイワパーツ検索システム 検索

TIERRA AIR IC
100H/HL, 100XH/XHL

ICカウンター取扱説明書

●電池取扱い上の注意

- 警告**
- ①電池は乳幼児の手の届かないところに置き、万一電池を飲み込んだ場合はすぐに医師に相談してください。電池を飲み込むと、化学やけど、粘膜組織の貫通など、最悪の場合には死に至ることがあります。
 - ②電池の液が目に入ったときは、目に障害を与えるおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分洗った後、医師の治療を受けてください。
 - ③電池を火の中に入れたり、加熱、分解しないでください。絶縁物などを損傷させ、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。
 - ④電池の(+)と(-)を逆に使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を引き起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂、発火させる恐れがあります。
 - ⑤電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。
 - ⑥電池はセロハンテープなどで皮膚に固定しないでください。皮膚に障害を起こす恐れがあります。
 - ⑦電池に漏液や異臭があるときには、漏れた液体に引火する恐れがありますので、すぐに火気から遠ざけてください。
 - ⑧電池が漏液、発熱、破裂、発火させるおそれがありますので、下記のことを行わないでください。
 - ・電池の(+)と(-)を針金などで接続接続したり、また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大電流が流れたりする恐れがあります。
 - ・電池は充電しないでください。充電すると電池内の電解液が加熱され、ガスの発生で内部圧力が上昇する恐れがあります。
 - ・電池を直接はんだ付けをしないでください。熱により絶縁物などを損傷させる恐れがあります。
 - ・電池を保管する場合および破棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁してください。電池を他の電池や金属製のものと混ぜたりすると、電池がショートする恐れがあります。

●カウンター電源について

電池寿命が近づいてくると、カウンターに[E]が点滅します。
※電池寿命は通常使用で2年程度、LEDバックライトの設定が「常時点灯(on2)」の場合は約8時間の釣行で5回程度です。
※付属の電池はテスト用です。作動期間を保障するものではありませんので、お早めに新しい電池と交換してください。

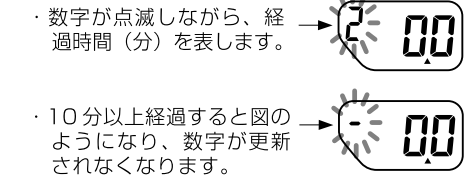
●巻上げ速度表示

※巻上げ速度表示の数値は、下表の通りです。
 ※実釣時の表示値は実際の巻上げ速度に準じた数値です。

表示	巻上げ速度 (cm/秒)	表示	巻上げ速度 (cm/秒)	表示	巻上げ速度 (cm/秒)
0	0~20	4	80~100	8	160~180
1	20~40	5	100~120	9	180~200
2	40~60	6	120~140	H	200~
3	60~80	7	140~160		

●タイマー

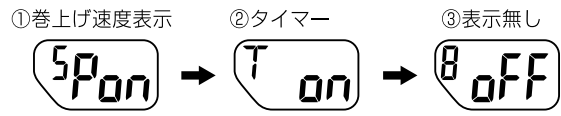
仕掛け投入経過時間(1~9分まで)をズバリ表示。手返しペースを作るのにも便利です。
 タイマーは、水深7mからオートスタートし、水深7m以下では消灯します。



●巻上げ速度/タイマー部表示内容設定

- カウンター [0.0] の状態でスイッチを18秒押し続けてください。
 ※5秒で表示が消えますがそのまま押し続けてください。8秒でアラーム設定の画面になりますが、そのまま押し続けてください。
 ※11秒でLED設定の画面になりますがそのまま押し続けてください。
 ※15秒で道糸入力画面になりますが、そのまま押し続けてください。

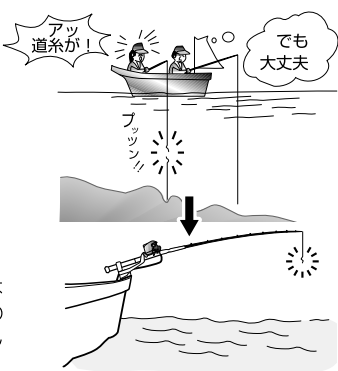
- 表示内容設定画面になります。スイッチ操作で下記の3種類を選択できます。(①~③の繰り返し)



- 選んだ画面でスイッチを長押ししてください。表示が [0.0] になり完了です。

●糸切れ補正のしかた ※スイッチを長押しするだけで一発修正。

- 切れた道糸の先端を竿先近くまで巻いてください。
- スイッチを押し続けて数字が [0.0] になれば修正完了です。
 切れたライン分のデータを修正します。



※糸切れした場合のデータ修正以外はカウンター誤差の原因になりますので、表示10m以上での長押しはしないでください。

●LEDバックライト設定方法 ※出荷時は①に設定されています。

- 表示が [0.0] の時に、スイッチを11秒間押し続けてください。
 ※5秒で表示が消え、8秒でアラーム設定画面になりますが、そのまま押し続けてください。

- バックライト設定画面になります。スイッチ操作で下記の3種類を選択できます。(①~③の繰り返し)

- スイッチを押した時に5秒間点灯します。
- 常にバックライトがONになります。(スイッチを1回押すごとに点灯、消灯の切換えができる設定です)
- 常にバックライトがOFFになります。

- 選んだ画面で、スイッチを長押ししてください。表示が [0.0] になり完了です。

●船べりアラームの使い方

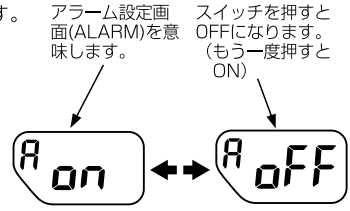
巻上げ中、水深8mより2m間隔で「ビッ」。水深2mで「ピーッ」と鳴り、仕掛けが船べりに近づいていることをお知らせします。
 アラーム音で巻くの止めれば、丁度仕掛けが手元にくるからラクラク！
 穂先の巻き込みなどトラブル防止のためにも、ご使用ください。

●デプスアラーム設定方法

アラーム音は、アラーム音OFFを含めて4つの設定から選択できます。
 ①アラーム音OFF。
 ②水深10mごとにアラーム音1回の繰り返し。
 ③水深10mごとにアラーム音1回~3回の繰り返し。
 ④水深10mごとにアラーム音1回~5回の繰り返し。
 ①~④いずれも、フォール設定、巻上げ設定それぞれでON/OFF設定が可能です。

1 アラーム設定

※出荷時は「on」に設定されています。
 カウンター [0.0] の状態でスイッチを8秒押し続けてください。5秒でカウンターが消灯しますが、そのまま押しつけてください。Aが表示されましたら、スイッチを離してください。アラーム設定画面になります。(アラームをOFFにしたい場合はスイッチを押します。)



※アラーム設定を終える場合は、5秒スイッチを長押ししてください。
 「ON」を選択した場合... 2 デプスアラーム(フォール)設定へ移行します。
 「OFF」を選択した場合... アラーム設定を完了し、初期画面 [0.0] に戻ります。

2 デプスアラーム(フォール)設定

※出荷時は「FL5」に設定されています。

- 右記の4種類を選択することができます。
 ※スイッチを押すたびにFL0→FL1→FL3→FL5を繰り返します。
- A FL0 音を鳴らさない場合
 - A FL1 水深表示10m毎に1回ビッ
 - A FL3 10mで1回ビッ、20mで2回ビッ、30mで3回ビッ
 - A FL5 40mで4回ビッ、50mで5回ビッ

3 デプスアラーム(巻上げ)設定

※出荷時は「UP1」に設定されています。

- 右記の4種類を選択することができます。
 ※スイッチを押すたびにUP0→UP1→UP3→UP5を繰り返します。
- A UP0 音を鳴らさない場合
 - A UP1 水深表示10m毎に1回ビッ
 - A UP3 10mで1回ビッ、20mで2回ビッ、30mで3回ビッ
 - A UP5 40mで4回ビッ、50mで5回ビッ

- 設定したいモードで5秒スイッチを長押ししてください。初期画面 [0.0] へ移行し設定完了です。

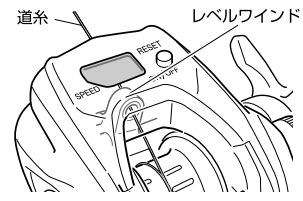
※あらかじめUVFエメラルダスデュラセンサー×8LD+Si²O₆号-200mのデータが入力されています。100サイズにUVFエメラルダスデュラセンサー×8LD+Si²O₆号-200mを巻く場合は、データのインプットは不要です。PEラインは同じ号数でも太さにばらつきがあります。そのためカウンター表示と糸のマーキングにズレが生じる場合がありますが予めご了承ください。※巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションにより異なります。

●道糸入力の方法

- 注意
- 糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。
 - PE0.4号未満の道糸は入力することができません。

■P1: リールに巻く糸の長さがわかる編 ●リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。※50mから400mまでの長さが入力可能です。

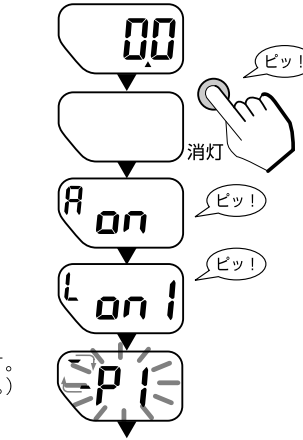
- 道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。
 ※スプール面での糸滑り防止のため、必ずしっかりと糸を結んでください。
 ※スプールに巻いた糸が滑ると、糸が巻き取れなくなる場合があります。
 ※ドラッグをしっかり締めてください。



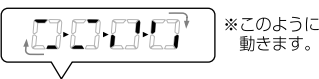
- スイッチを押してカウンターを表示させてください。

- 表示が [0.0] のときに、スイッチを15秒以上押し続けてください。
 ※5秒で表示が消えますがそのまま押し続けてください。8秒でアラーム設定の画面になりますが、そのまま押し続けてください。
 ※11秒でLED設定の画面になりますがそのまま押し続けてください。

- 道糸設定画面になり [P1] が点滅します。(ここで一旦スイッチを離してください。)



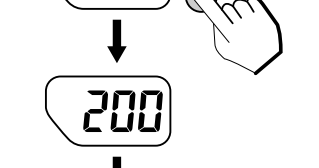
- 実際に釣りをする時と同じくらいテンション(500g程度)をかけて道糸を巻きまわります。
- 糸を巻き取り始めると、[P] のまわりの枠が回転します。



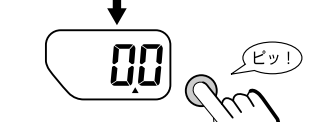
- 巻き終わったら表示が [50] になるまでスイッチを5秒以上押ししてください。(50は初期値です。)



- 設定したい長さになるまでスイッチをくり返し押しして道糸の長さをセットします。(図は、200m入力した場合です。)



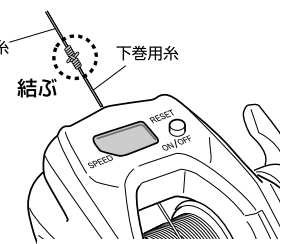
- 設定した長さが表示されたら、スイッチを5秒以上押ししてください。(アラーム音が鳴り、表示が [0.0] になれば完了です。)



※ [Err] になった場合は、再度入力又は、引出し入力 (P3) をしてください。

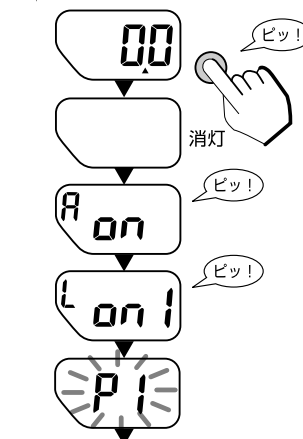
■P2: 下巻き入力 ●ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

- 下巻用糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。
 ※スプール面での糸滑り防止のため、必ずしっかりと糸を結んでください。
 ※ドラッグをしっかり締めてください。



- 下巻用糸を巻きまわります。
- 上糸をしっかりと結びます。

- スイッチを押してカウンターを表示させ、表示が [0.0] のときに、スイッチを15秒以上押し続けてください。
 ※5秒で表示が消えますがそのまま押し続けてください。8秒でアラーム設定画面になりますが、そのまま押し続けてください。11秒でLED設定の画面になりますがそのまま押し続けると道糸設定画面になり [P1] が点滅します。(ここで一旦スイッチを離してください。)



- スイッチを1回押しして [P2] (下巻き入力画面) にしてください。[P2] が点滅します。(上糸が100mの場合は 7へ)



- テンション(500g程度)をかけて残り100mになるまで道糸を巻いてください。糸を巻き取り始めると、[P] のまわりの枠が回転します。



- スイッチを5秒以上押ししてください。([50] になります。)



- テンションをかけて糸色に注意しながら50m道糸を巻いてください。糸を巻くと表示は、[P2] になります。



- スイッチを5秒以上押ししてください。(表示の数字が [100] になります。)



- テンションをかけて糸色に注意しながら残り50m道糸を巻いてください。糸を巻くと表示は、[P2] になります。

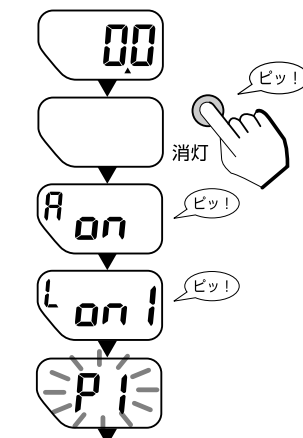


- 巻き終わったらスイッチを5秒以上押ししてください。表示が [0.0] になります。
 ※ [Err] になった場合は、再度入力又は、引出し入力 (P3) をしてください。



■P3: 引出し入力 ●道糸を巻き終わった状態から再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が60m以上必要です。

- スイッチを押してカウンターを表示させ、表示が [0.0] のときに、スイッチを15秒間押し続けてください。
 ※5秒で表示が消えますがそのまま押し続けてください。8秒でアラーム設定画面になりますが、そのまま押し続けてください。11秒でLED設定の画面になりますがそのまま押し続けると道糸設定画面になり [P1] が点滅します。(ここで一旦スイッチを離してください。)



- スイッチを2回押しして、[P3] (引出し入力) 画面にしてください。[P3] と [30] が交互に点滅し、引出し入力画面になります。

- 糸のマークに注意しながら、30m引出してください。糸を出すと、[P3] 表示になり、Pのまわりの枠が回転します。



- スイッチを5秒以上押ししてください。[P3] と [60] が交互に点滅します。



- 糸のマークに注意しながら、さらに30m引出してください。糸を出すと、[P3] 表示になり、Pのまわりの枠が回転します。



- スイッチを5秒以上押ししてください。表示が [60.0] になります。



- 引出した糸を60m巻き取り完了です。
 ※ [Err] になった場合は、再度入力をしてください。
 スwitchを押せば、[0.0] に戻ります。

